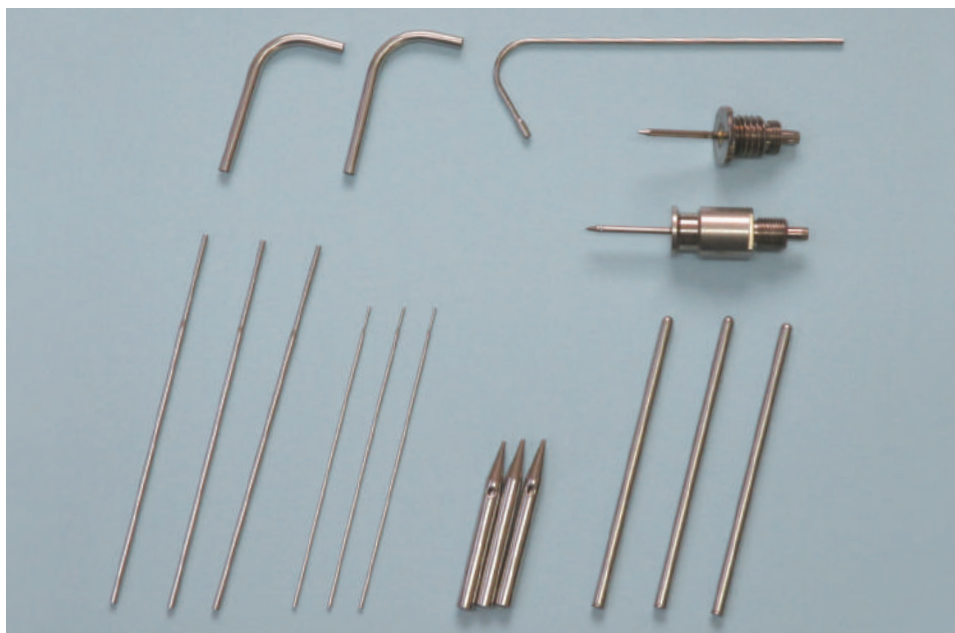


用途に忠実なものづくり 社内完結でQCD実現

- 納期 期相
- 企画 力相
- コスト 自相
- オンライン ワン技術
- メイドイン ジャパン
- 試作 可小ロット
- 量産 対応



メリヤス針製造で培った加工技術を展開

業務内容

スウェーピング(冷間鍛造)のスペシャリスト

森田製針所は創業90年を超える企業で、スウェーピング(冷間鍛造)のスペシャリスト。メリヤス針製造で培った細針の絞りや曲げ、穴あけ、溶接、切断といった各加工技術を駆使し、電子機器や半導体製造装置、医療機器などの基幹部品を製造している。「うちを箇面の墓場にしろ」という森田祐輔社長は、「自社でできないものは世の中に存在し得ない」との気概を持って顧客の難題に取り組むよう、日々発破をかけている。空気清浄機などに組み込まれるイオン発生機器。大手電機メーカーが製造するデバイス向けに、先鋭度の高い放電針が大量納入されている。また、特殊形状の血液検査装置や手術用具などにも同社の技術が採用されている。

強み

専用機を駆使する熟練技術と簡易治具等の内製力

バリエーションに富む加工技術のノウハウはもちろんだが、その背景にあるのが、製造設備や治具、評価設備の内製力。QCD(品質・コスト・納期)トータルでの顧客ニーズへの柔軟な対応が実現できる。試作品や小ロット品ではNC機で対応できても、量産品になれば生産性が問われるため、型の確保な



特殊加工機と内製する簡易治具で量産加工

ど生産準備コストが膨大になる。工場には特殊加工機が数十台と並び、内製する簡易な治具を用いて熟練技術者が高精度に加工する。森田社長は「他社では作れないモノでも当社なら可能」とアピールする。

品質管理

用途を把握して機能要求を理解することから始まる

加工後の部品が、納入先から要求される機能を満たしているか? 「用途に忠実なものづくり」を品質方針にする。供給するのは完成品を大きく左右する機能部品であることがほとんど。森田社長は「自分たちの作った部品が、最終的にどのように使われているのか。知らないままでは良いモノは作れない」と断言する。国際規格取得で品質保証体制を裏付けなくても、自社に合ったやり方で、納入先が納得できる仕組みを構築できていれば良い。そのように考え、必要な評価方法を考案し、省力化した検査設備を内製する。全数検査なども徹底しており、「工場に来てもらえば分かかって頂ける」との自信を見せる。

今後の展望

医療機器向けに期待、他社と連携でものづくり再興

森田社長は「絶対需要があるものを伸ばしたい」と足下の強化を急ぐ構え。精度や信頼性が求められ、小ロットで小回りの利く同社の特徴を生かせる分野として、今後も医療機器を視野に入れる。「技術があり、やる気もある中小企業同士が連携して、海外と渡り合っていきたい」と日本のものづくりへの貢献を誓う。

COMPANY PROFILE

有限会社 森田製針所

当社の歴史

大正10年、造幣局の機械払い下げを受けて曾祖父が起業します。メリヤス針の製造は細針加工技術の総合デパート。国内繊維産業の競争力低下に伴い、祖父が一連の技術を他分野に展開を始めます。父に代が替わるも、社長就任3年で急逝。22歳で後を継いだ現社長は父の築いた社外人脈、祖父を慕うベテラン社員に支えられ、10年間で事業拡大、技能伝承を努めています。

独自のノウハウを駆使し加工機を自社内で開発することで高品質・低コスト・短納期を実現。

代表取締役社長 森田 祐輔さん



■主な事業内容
針・ステンレスパイプ加工

■主な取引先(納入先)
家電メーカー、医療機器メーカー、半導体製造装置メーカー

住所 / 〒571-0034 門真市東田町 23-24
TEL / 06-6906-8686
FAX / 06-6909-5619
創業 / 大正10年7月
設立 / 昭和22年10月
資本金 / 300万円
従業員 / 42名

<http://www.moritahari.jp/>